



平素は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

当社グループは2016年9月30日をもって第77期(2017年3月期：2016年4月1日から2017年3月31日)の中間期を終了いたしましたので、ここに事業の概況と今後の諸施策につきましてご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 **大槻保人**

目次 CONTENTS	トップメッセージ	1	
	当中間期のセグメント別営業概況	3	
	特集	5	
	TOPICS	7	
	株主優待／株主配当	8	
	連結財務諸表(要旨)	9	
	会社概要／株式情報	10	

トップメッセージ

第77期(2017年3月期) 中間期の事業概況と今後の展開

ポイント

- 新設住宅着工戸数の緩やかな増加傾向が続く中、個人消費の低迷はあるものの、積極的な営業活動や原価低減活動の推進により、増収増益を達成。
- 安定配当を維持する基本方針に沿い、前期同様の中間配当を決定。
- 期末配当についても、1株5円を予定。

1 第77期(2017年3月期) 中間期の事業概況

当中間期(2016年4月1日～2016年9月30日)のわが国経済は、中国をはじめとした新興国経済の減速や英国のEU離脱問題など海外経済の下振れリスクは依然として残るものの、政府による経済政策等により、緩やかな回復傾向で推移しました。しかしながら、円高の進行による企業業績の減速感が懸念される等、先行きは不透明な状況が続きます。当社グループの業績に影響の大きい住宅市場においては、新設住宅着工戸数は緩やかな増加傾向が継続したものの、個人消費が低迷する中で、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは主力製品であるカーテンレールにおいて発売50周年を迎えた機能性カーテンレール「エリート」や木製ブラインド、調光ロー

ルスクリーンなどのデザイン性の高いブラインド類に焦点を当てた展示会の開催によりプロモーションを強化するとともに、非住宅分野や新規領域への販路拡大など積極的な営業活動を展開しました。これらの結果、当中間期の売上高は前年同期を4.5%上回る10,833百万円となりました。

利益面では、売上高が増加したことに加え、物流費用や販売関連費用などを抑制したことで、営業利益・経常利益とも前年同期を大幅に上回りました。また、厚生年金基金解散引当金の減少により、損失引当金戻入の特別利益約66百万円を計上したことで、親会社株主に帰属する四半期純損益については222百万円の利益となりました。

売上高

10,833 百万円

営業利益

298 百万円

経常利益

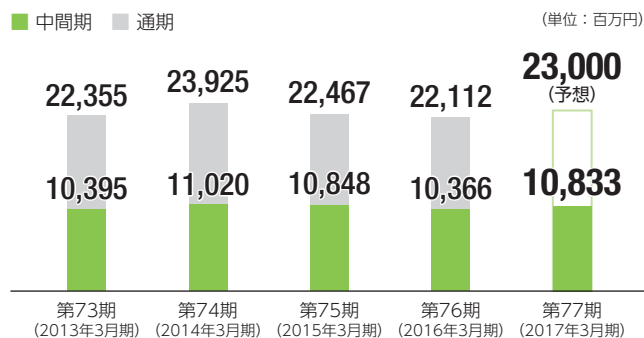
285 百万円

2 第77期（2017年3月期）の見通し

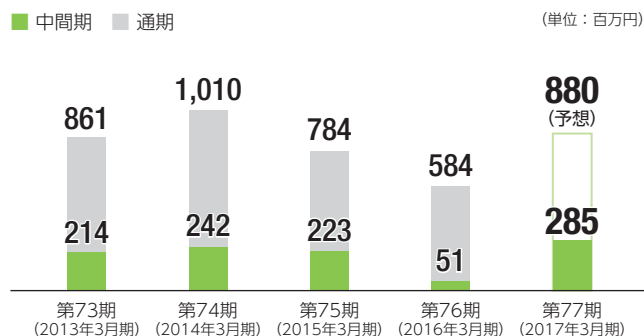
市場環境としましては、政府の経済政策や日銀の金利政策などの効果により新設住宅着工戸数は緩やかな増加傾向が続くものの、個人消費が低迷している中で、当社グループを取り巻く事業環境は不透明な状況が続くと予想されます。

今後も市場ニーズを的確に捉え、また、ユーザーの目線に立った魅力的な製品を提供していくことで売上増進

売上高

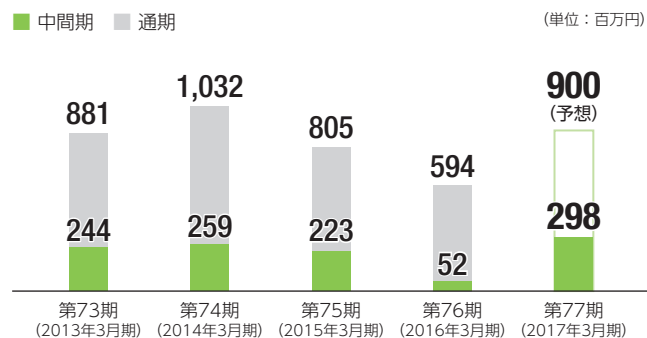


経常利益

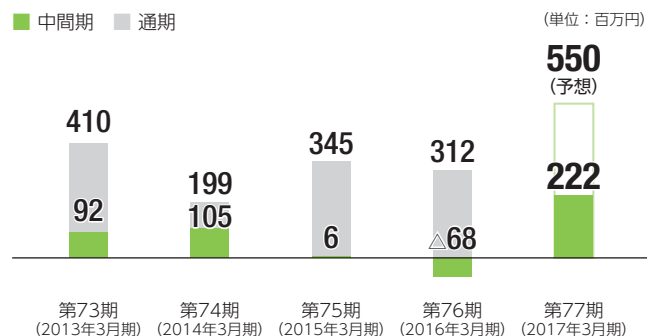


を図るとともに、原価低減活動の推進や効率的な費用執行を実行することで一層の収益力拡大に努めてまいります。通期の業績見通しにつきましては当初公表（平成28年5月11日発表）の通期連結業績予想通り、売上高23,000百万円、営業利益900百万円、経常利益880百万円、親会社株主に帰属する当期純利益550百万円を見込んでいます。

営業利益



親会社株主に帰属する四半期純損益



3 当期の配当金について

中間配当につきましては、安定配当を維持する基本方針に沿って前期同様に1株につき5円とさせていただきます。期末配当につきましても同様に1株につき5円、年間10円を予定しております。当社グループでは、2016年4月より10年間の新しい経営ビジョンであります「Vision2025」をスタートさせております。その第1フェーズ（2016-2019年度）におきましては、高収益体質への転換と成長戦略の見直しを着実に実行していくことで、多くの投資家の皆様に魅力を感じていただける企業になるよう努力してまいります。皆様からの一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

第77期（2017年3月期）配当について

中間配当金

5円

期末配当金

5円 (予定)

合計（年間）

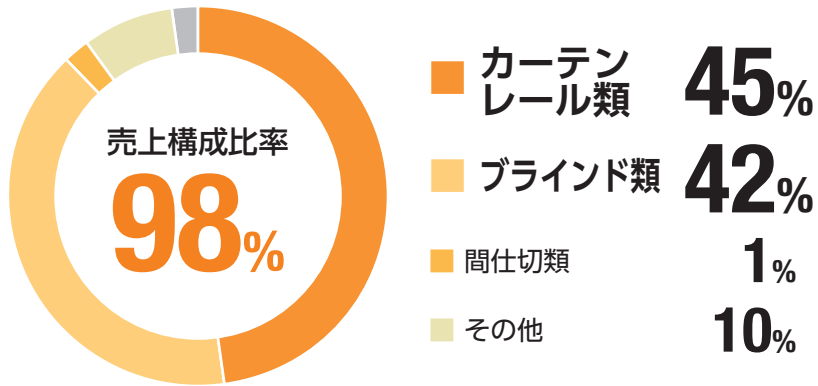
10円 (予定)



詳細な決算説明を動画で公開しています。是非ご覧ください。

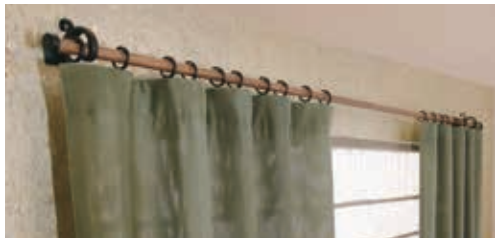
当中間期のセグメント別営業概況

室内装飾関連事業



事業内容

国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や室内間仕切類などを開発・製造・販売しています。



カーテンレール類 (装飾性カーテンレール)



ブラインド類 (アルミブラインド)



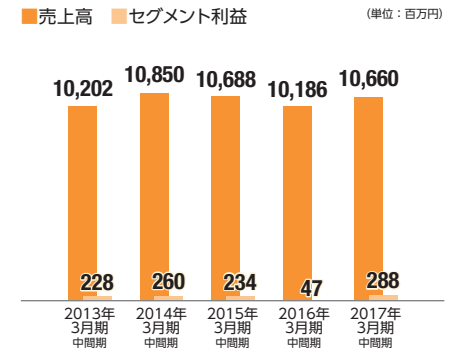
間仕切類 (アコーデオンドア)

売上高

106億60百万円

セグメント利益

288百万円



当中間期の営業概況

室内装飾関連事業の業績に影響の大きい住宅関連市場は、日銀のマイナス金利政策の影響から住宅ローンの金利の低下が見られ、新設住宅着工戸数は緩やかな増加傾向が続くものの、個人消費が低迷する中、取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

こうした市場環境の中、当社グループは発売50周年を迎えた機能性カーテンレール「エリート」やデザイン性の高いブラインド類（木製ブラインドや調光ロールスクリーンなど）を中心とした展示会を全国17カ所で開催し、積極的なプロモーションを展開しました。また、ホテル需要等住宅以外の施設獲得や新規開拓活動に取り組み、売上高は前年同期を上回りました。

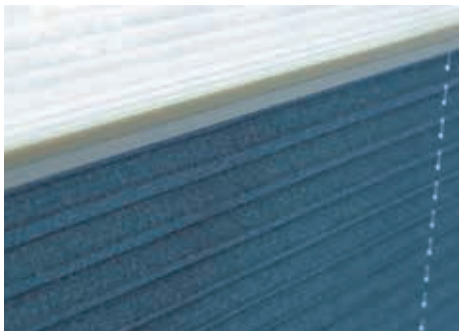
製品面では、近時のトレンドである天然木の素材感をいかした装飾カーテンレール「レガートグラン」や発売50周年記念の機能性カーテンレール「エリート」、新定番機能性カーテンレール「ネクスティ」などのラインナップ強化をおこないました。

セグメント利益は、売上高の増加に加え、販売関連費用の効率的な執行など費用低減に努めた結果、増益となりました。

カーテンレール
60年以上にわたり
国内シェア
No.1



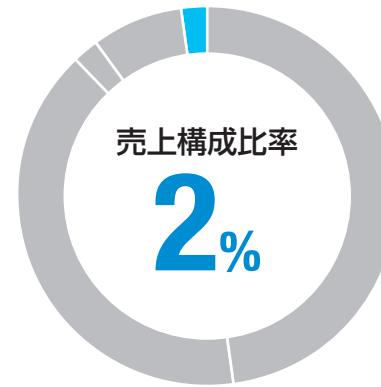
発売50周年を迎えた機能性カーテンレール「エリート」



素材感にこだわった
木製ブラインドと
プリーツスクリーン
(上：プリーツスクリーン、
右：木製ブラインド)



その他の事業



事業内容

ステッキを中心とした介護関連用品を開発、販売しております。そのほか、グループの物流事業請負業務をおこなっています。

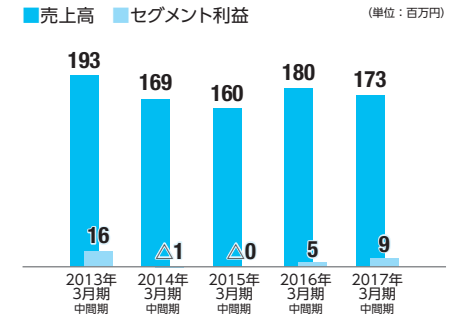


売上高

1億73百万円

セグメント利益

9百万円



当中間期の営業概況

ステッキを中心とした介護関連用品の新製品導入を積極的におこなう一方で、不採算品の見直しを進めた結果、売上高は前年同期を若干下回りましたが、セグメント利益は前年同期を大幅に上回りました。

特集 カーテンレール「エリート」50周年

～レール一本に注いだ情熱～



エリート
50th
レール一本に
注いだ情熱

あなたのおうちにも
ついているかも!?

TOSOが誇る、機能性カーテンレール 「エリート」が誕生して50周年

2016年で発売50周年を迎えた、トソーのロングセラー機能性カーテンレール「エリート」。時代のニーズに応え、研究に研究を重ねグレードアップしつつ、定番であり続ける「エリート」の魅力をご紹介します。

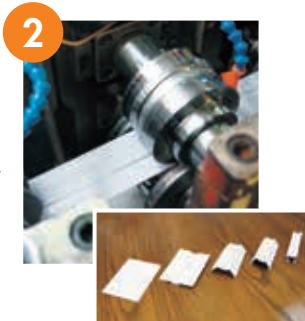
エリートができるまで

徐々にカーテンレールの形に!

しっかりチェック!



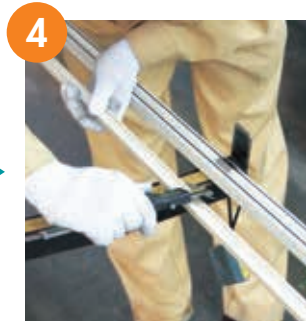
1 カーテンレールの材料（コイル状のスチール）を成形装置にセッティング。スチールが成形装置に自動的に伸ばされていきます。



2 成形装置のロールを通った材料に溝ができていき、ロールを通過するたびに、徐々に完成形に近づいていきます。



3 成形装置の中で洗浄したカーテンレールを、任意に設定された長さにカットします。オーダーに応じて様々な長さに加工できます。



4 カットしたカーテンレールはロットごとに外観や寸法、形状をチェックします。チェックを通過したものだけが、次の工程へ運ばれます。



5 カーテンレールの長さに応じてあらかじめ決められた数量のランナーが挿入レールから供給されます。

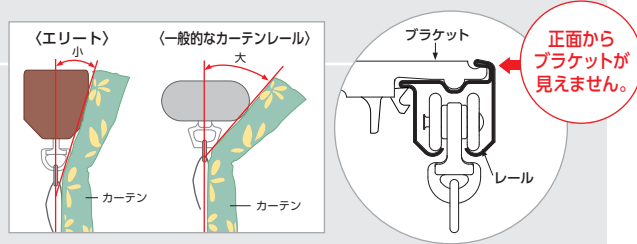


6 できあがった製品を1本1本梱包します。最後にサイズや品番をチェックして伝票に記入したら、いよいよ出荷です!

エリートが愛され続ける **3つ** の理由

1 デザインの良さ!!

壁面に取り付けても、ブラケットが見えず、レールの前面がフラットな形状のため、カーテンのヒダでレールを隠す吊り方ができます。



2 滑りの良さ!!

エリートランナーは直径12mmのホイールランナーを採用したことで、滑りが良く、カーテンの走行性が抜群です。重いカーテンでも引っ掛かりのないスムーズで快適な開閉を実現しています。

3 取り付けやすさ!!

ブラケットの種類が多く、様々な場所や状況に対応できます。ワンタッチでレールを取り付けられるブラケットを日本で初めて採用。施工性の高さも愛される理由の1つです。



完成！
出荷



全国のカーテンショップなどの業者さまへお届けしています。

OPTION

カーテンストッパー

窓の開閉部を広く確保して、明るいお部屋に

窓の開閉部を広く確保できる部品「カーテンストッパー」(PAT.P)で、生地や芯地の反発で閉まってしまふカーテンでも、いつもの操作で好きな位置に止められます。

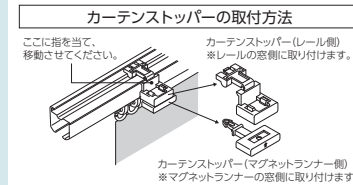


カーテンストッパーなし



カーテンストッパーあり

カーテンストッパーのある位置でカーテンを止めることができます。



なるほど！
カーテンストッパー

営業マン 山田耕介
漫画・岸本景子

トーソーだけの
オリジナル商品です
エリートに使えます

※無断転写(コピー)・複製を禁じます

TOPICS ~第77期 (2017年3月期) 中間期の主なトピックス~

5月

新製品展示会 「ウインドウファッションフェア2016」を開催

インテリア業界関係者向けの展示会「ウインドウファッションフェア2016」を今年は全国17カ所で開催しました。「ウインドウファッションフェア」は、製品を実際に見て触れてもらい、素材感や操作感などを体感できる機会を増やすことを目的として毎年開催しており、今年で14回目となりました。今年は、発売50周年を迎えた機能性カーテンレール「エリート」に焦点を当て、カーテンレールをメインに展示と提案をおこないました。また、昨年に引き続き当フェアと同時に開催したインテリアセミナーでは『色決めで迷わない!インテリアカラーコーディネート理論と実践 ~グレイッシュカラーの窓まわり活用術~』をテーマに、ドアや床などの建材カラーから決めていくインテリアカラー計画についてわかりやすく紹介しました。



8月

「日経IR・投資フェア2016」へ出展



東京ビッグサイトにて開催された個人投資家向けIRイベント「日経IR・投資フェア2016」(主催:日本経済新聞社)に出展しました。当社は展示ブース内で事業内容や新しい経営ビジョン「Vision2025」、中期経営計画などの説明をおこないました。今後も当社の企業価値向上に向けた有意義な情報を発信できるようにIR活動をおこなってまいります。

9月

窓装飾プランナーのための 「ウインドウスタイリング・スキルアップ講座2016」を開催

窓装飾プランナーのスキルアップ支援を目的としたワークショップ&セミナー「ウインドウスタイリング・スキルアップ講座2016」を東京・福岡・名古屋の3会場で開催しました。当講座は、窓装飾を仕事としている人たちが、より深い知識やテクニックを習得してほしい、との思いで企画された実践的で有意義なイベントです。当社は、今後も窓装飾プランナーをはじめ、インテリアの仕事に携わる方々への支援と業界の発展のために様々な活動を推進してまいります。



8月

DIY産業向け展示会 「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2016」へ出展



国内外のDIY・ホームセンター関連商品を一堂に展示し、DIY産業の健全な振興・総合的発展を推進する展示会「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2016」に出展しました。今年は、当社人気のピクチャーレールに加え、ウォールステッカーなど、壁のデコレーション事例を展示し、ウォールデコレーションの提案をおこないました。

株主優待制度のご案内／株主配当のお知らせ

株主優待

当社では、株主様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、株主数の増加を図ることを目的に株主優待制度を設けています。

株主優待割当基準日 3月末日

ギフトカタログに記載された旬の食材や生活用品などの中から、お好みの品物を1点お選びいただけます。また、環境保全活動の一環としてインドネシア共和国における植林活動への寄付も設けています。

10単元(1,000株)以上

3,000円相当の優待品



1単元
(100株)以上

1,000円相当の優待品



※対象株主様：毎年3月末日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主様を対象といたします。
なお、2016年3月末日を割当基準日とする株主優待は、2016年9月末日をもってお申し込み受付を終了させていただいております。

株主配当

配当方針

当社は、上場企業として株主の皆様への利益還元は重要な責務であり、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績および今後の設備投資計画などを勘案して利益配分をおこないたいと考えております。今後とも収益力向上と財務体質の強化を図り、利益還元に努めてまいりますので、株主の皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■1株あたり配当金の推移

	第76期 (2016年3月期)	第77期 (2017年3月期)
中間配当金	5円	5円
期末配当金	5円	5円(予定)
合計(年間)	10円	10円(予定)

インドネシア共和国における植林活動へ572,000円を寄付

第71期（2011年3月期）より、株主優待制度に当社子会社の所在地であるインドネシア共和国における「植林活動への寄付」を設けております。

お申込みいただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。株主優待制度にお申し込みいただかなかった方々の優待相当額と合わせて、当期は572,000円を寄付させていただきました。

す。植林活動は2016年12月頃を予定しており、実施報告につきましては「第77期（2017年3月期）のご報告」にてお知らせいたします。

インドネシア共和国における植林活動実績
累計本数 **10,500本**（2016年3月末日現在）

※株主の皆様による寄付および当社の植林活動を含めた実績です。



連結財務諸表 (要旨)

※連結財務諸表の数値は百万円以下を切り捨てて表示しています
(単位: 百万円)

中間連結貸借対照表

POINT 1 資産の部 変動要因

資産合計は前期末と比較して666百万円減少し、20,226百万円となりました。

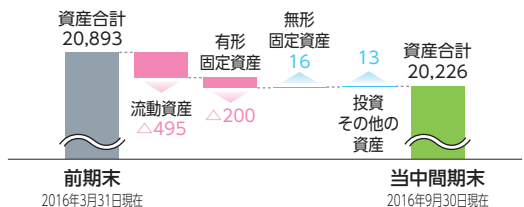
●流動資産は495百万円減少しました。

●要因 現金及び預金は増加したものの、受取手形及び売掛金などが減少

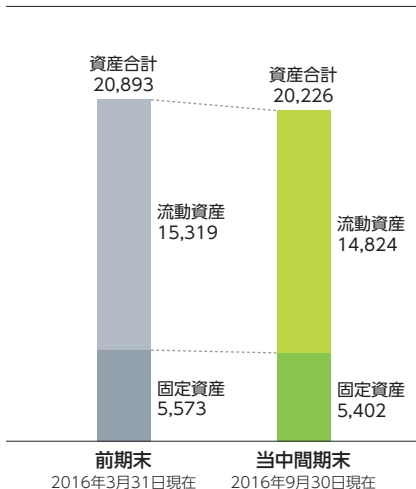
●固定資産は170百万円減少しました。

●要因 サーバ関連リース償還によるリース資産の減少など

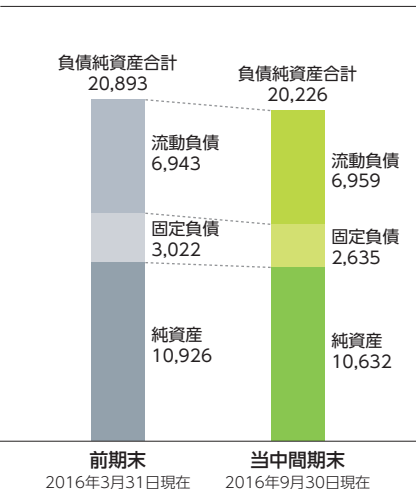
流動比率は213.0%と高水準を維持しています。



資産の部



負債・純資産の部



POINT 2 負債・純資産の部 変動要因

負債合計は前期末と比較して371百万円減少し、9,594百万円となりました。

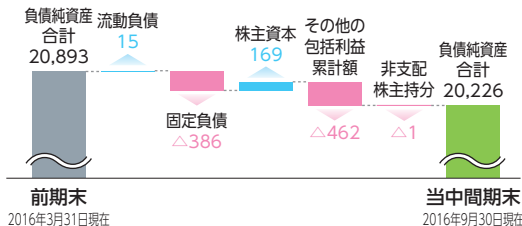
●流動負債は15百万円増加しました。

●要因 支払手形及び買掛金などは減少したものの、未払費用やデリバティブ債務などの増加が影響

●固定負債は386百万円減少しました。

●要因 長期借入金、長期リース債務の減少など

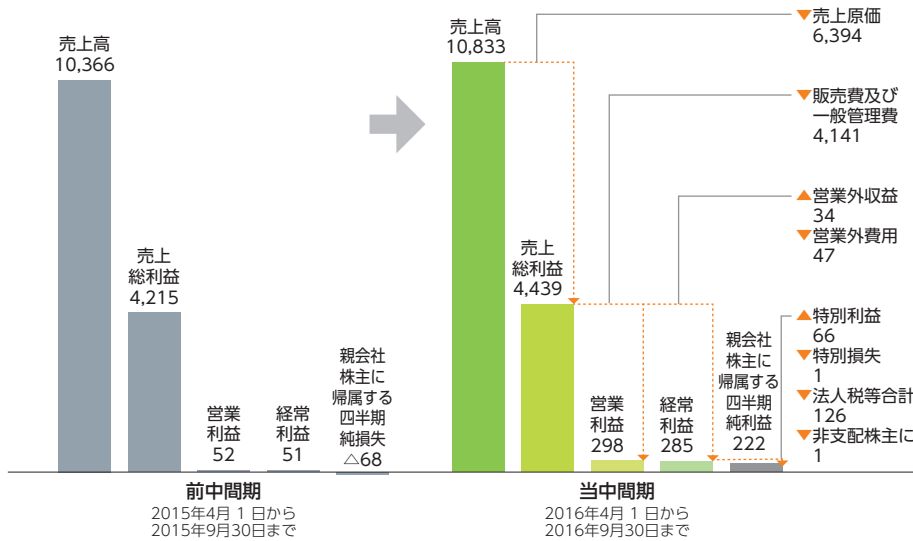
自己資本比率は52.4%と引き続き健全な財務体質を維持しています。



(単位: 百万円)

(単位: 百万円)

中間連結損益計算書



POINT 3 営業利益 変動要因

営業利益は前年同期比468.7%増の298百万円となりました。

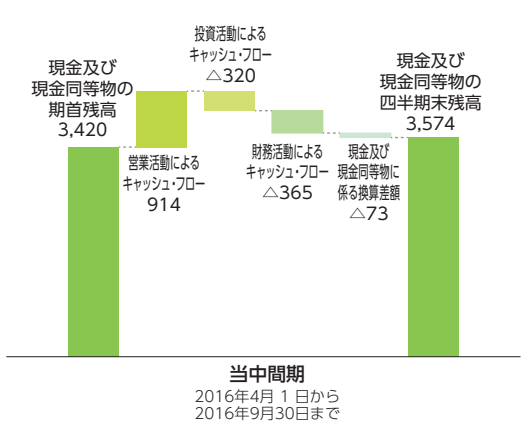
●要因 売上高の増加に加え、原価低減活動や販売関連費用の効率的な執行等、費用低減に努めたことで大幅に増加

POINT 4 親会社株主に帰属する四半期純損益 変動要因

親会社株主に帰属する四半期純損益は222百万円の利益となりました。

●要因 厚生年金基金解散引当金の減少により、「厚生年金基金解散損失引当金戻入額」66百万円を特別利益として計上

中間連結キャッシュ・フロー計算書



詳細な情報は [こちら](#) → TOSO IR資料

会社概要 (2016年9月30日現在)

会社名 トーソー株式会社
 英文社名 TOSO CO.,LTD.
 本社所在地 〒104-0033
 東京都中央区新川一丁目4番9号

電話 03(3552)1211(代)

設立 1949年9月

資本金 11億7,000万円

主な事業内容 インテリア製品の開発、製造、販売
 国土交通大臣許可内装仕上工業業(般-23)第16989号
 ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部/品質保証部
 ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場

従業員数 連結941名 単体555名

【役員】

《取締役・監査役》

代表取締役社長	大槻 保人 (オオツキ ヤスト)
取締役	前川 圭二 (マエカワ ケイジ)
取締役	結束 正 (ケツク タダシ)
取締役	庄中 基秋 (ショウナカ モトアキ)
取締役	渡辺 文生 (ワタナベ フミオ)
取締役	林 淳之 (ハヤシ アツユキ)
取締役	久保田 英司 (クボタ エイジ)
取締役(監査等委員)	森兼 康博 (モリカネ ヤスヒロ)
社外取締役(監査等委員)	久保 英幸 (クボ ヒデユキ)
社外取締役(監査等委員)	江角 英樹 (エスミ ヒデキ)

《執行役員》

執行役員	本多 敏光 (ホンダ トシミツ)
執行役員	八重島 真人 (ヤエシマ マコト)
執行役員	伊藤 健一 (イトウ ケンイチ)

【事業拠点一覧】

営業拠点 札幌支店、仙台支店、さいたま支店、
 東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、
 広島支店、福岡支店
 営業所15カ所

国内工場 つくば工場(茨城県)、水海道工場(茨城県)、
 兵庫工場(兵庫県)

物流拠点 流通センター(茨城県)、
 流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、
 福岡配送センター

ショールーム トーソープラザ
 (東京ショールーム、大阪ショールーム)

連結子会社 サイレントグリス株式会社
 トーソーサービス株式会社
 フジホーム株式会社
 トーソー流通サービス株式会社
 P.T.トーソー・インダストリー・インドネシア
 東装窗飾(上海)有限公司



株式情報 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 11,897,600株
 株主数 8,039名

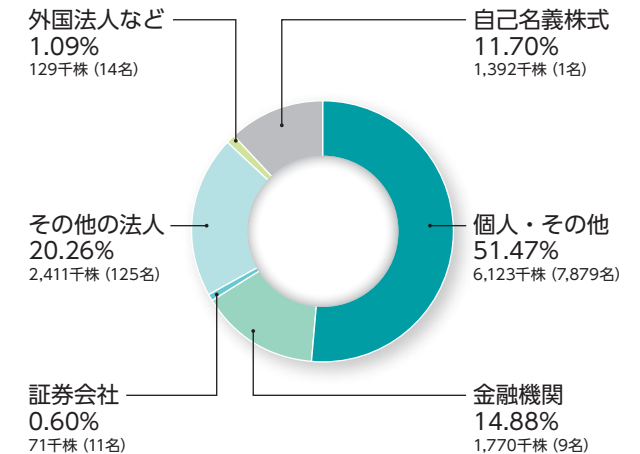
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大槻 保人	1,425	11.98
トーソー取引先持株会	568	4.78
トーソー社員持株会	495	4.16
株式会社みずほ銀行	458	3.85
十和運送株式会社	414	3.48
株式会社三菱東京UFJ銀行	338	2.84
第一生命保険株式会社	222	1.86
株式会社東京都民銀行	216	1.82
株式会社常陽銀行	215	1.80
大槻 秀人	205	1.72

(注1) 持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2) 当社は自己株式1,392千株を保有しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
東京都中央区八重洲一丁目2番1号

同 連 絡 先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-288-324 (フリーダイヤル)

取次事務はみずほ信託銀行株式会社 (トラストラウンジを除く)、株式会社みずほ銀行、みずほ証券株式会社 (カスタマープラザを除く) の各本店でおこなっています。

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

同 連 絡 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告をおこなう際には、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にておこなわれます。確定申告をおこなう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主様は大切に保管してください。

トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号

<http://www.toso.co.jp>

証券コード：5956

表紙のポスターについて

機能性カーテンレール「エリート」発売当初 (1960年代) のトソーの広告です。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。